

安倍内閣総理大臣
ビデオメッセージ全文

皆さん、おはようございます。内閣総理大臣の安倍晋三です。

本日は、世界各地から多くの皆様にお集まりいただき、「I H R A 国際フォーラム2016『高速鉄道が創り出す社会、そしてその未来』」が盛大に開催されますこと、心からお慶び申し上げます。

高速鉄道、日本では「新幹線」と呼びますが、この言葉はいつか、「日本」を代表するものとなりました。鉄道技術の結晶ともいうべき技術力はもちろん、安全や信頼を重視する文化、品質や効率性の飽くなき追求など、世界に発信したい「日本の誇り」を象徴するもの、それが「新幹線」です。

1964年10月1日、東京オリンピック開幕の9日前に、新幹線は誕生しました。私は当時10歳、「夢の超特急」に憧れ、一刻も早く乗りたかったことを今でも鮮明に覚えています。

当時の日本は決して豊かではありませんでしたが、世界銀行からの融資も得て、わずか5年で完成させました。高速、かつ、大量の旅客輸送が新幹線で可能となったことで、ビジネス環境が著しく向上し、その後の日本の発展を支えました。

それから半世紀。北海道から鹿児島まで、全国に3千キロの路線、年間4億人近くを輸送しながら、乗客の死亡事故はゼロ、最短3分間隔の運行での定時性の確保など、さらに高度な運行システムへと、発展・進化を遂げています。災害に対する強靭性、究極の安全性も追求してきました。

そして、今、次世代の超高速鉄道、超電導リニアの建設が進んでいます。2027年には、21世紀の高速鉄道に革新をもたらす「超電導リニア」が、世界で初めて日本の大地を駆け抜けます。

リニアと新幹線による高速鉄道ネットワークを軸に、東京や大阪、名古屋がハブとなって、日本全国、北から南まで、地方と地方をつないでいく。「地方創生回廊」を創り上げ、全国を一つの経済圏に統合することで、地方に成長のチャンスを生み出していきます。

悠久の歴史が息づく街が、真紅に染まる。秋の京都は、時に華やかで、時に厳かで、日々の課題・難題から少し距離を置き、未来に向かって自由に思索し議論するには、最も適した場所だと思います。

世界の国・地域の各界のリーダーの方々の中で、高速鉄道を社会に活かすための、有意義な意見交換と情報共有が行われることを、心から期待したいと思います。